

特別会計

①国民健康保険特別会計

③介護保険特別会計

要支援者・要介護者が能力に
 じ、自立した日常生活を営むこ
 ができるよう保険給付を行った
 か、介護予防を推進しました。

分譲中の朝日4丁目住宅団地（第4期）の管理および販売促進を行いました。

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差 引
①国民健康保険特別会計	15 億 9,065 万円	15 億 6,585 万円	2,480 万円
②北海道介護福祉学校特別会計	1 億 1,849 万円	1 億 1,820 万円	29 万円
③介護保険特別会計	13 億 5,549 万円	12 億 9,999 万円	5,550 万円
④後期高齢者医療特別会計	2 億 870 万円	2 億 849 万円	21 万円
⑤住宅団地造成事業特別会計	1,947 万円	1,012 万円	935 万円
⑥工業団地造成事業特別会計	234 万円	233 万円	1 万円
合 計	32 億 9,514 万円	32 億 498 万円	9,016 万円

企業会計

①水道事業会計

水を作り、家庭などに届けるための経費（収益的収支）では約2959万円の黒字となりましたが、浄水場の設備更新や配水管の整備などの経費（資本的収支）では2億1439万円の不足となりました。

各会計の不足額は、収益的支出のうち現金の支出を必要としない費用によって生じた資金（損益勘定留保資金など）で補填しました。

資本の収支	決算額
収入額	2 億 9,308 万円
支出額	5 億 5,995 万円
不足額	2 億 6,687 万円

資本の収支	決算額
収入額	2 億 661 万円
支出額	4 億 2,100 万円
不足額	2 億 1,439 万円

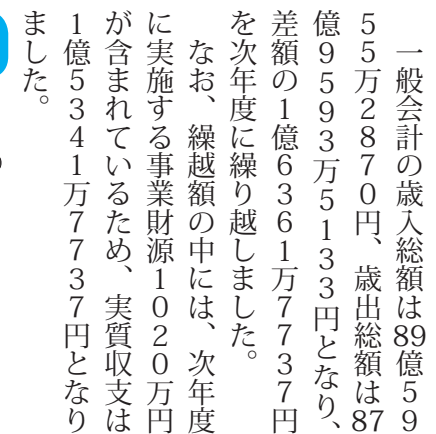


大切な税金の使い道 お知らせします

【問い合わせ】 経営企画課行政経営グループ ☎ 73-7503



一般会計



Category	Amount (thousand yen)
総務費	174,873
民生費	177,979
教育費	67,020
消防費	33,614
衛生費	41,706
農林水産業費	86,258
公債費	116,455
土木費	147,173
災害復旧費	7,716
議会費	6,570
諸支出金	1,524
労働費	1,022
合計	87億 9,594万円

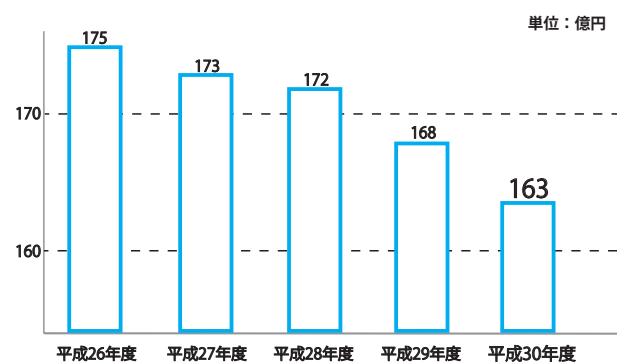
※単位：万円
(万単位にそろえているため、端数が合わない場合があります)

差引額 約**1**億6,361万円

町債残高の推移（全会計）

町債（町の借入金）には、毎年の財源負担を平均化する役割と、現在と将来の町民負担を公平にする役割があり、町では財政状況を悪化させないよう、栗山町第6次総合計画や行財政改革推進計画などに基き、計画的な借り入れを行っています。

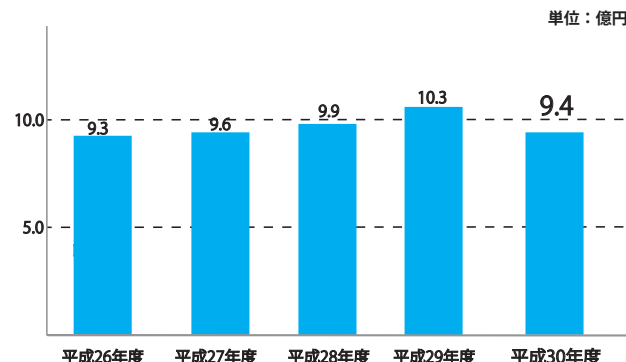
町債の年度末残高は全会計分で約163億7749万円となり、前年度比で約4億2972万円の減となりました。



基金残高の推移（一般会計）

安定した財政運営を進めるための貴重な財源として、決算に伴う余剰金の一部や、寄附金などを原資として積み立てた基金の年度末残高は、一般会計分で約9億4862万円となり、前年度比で約865万円の減となりました。

なお、平成30年度における取崩額は約1億8845万円、積立額は約1億180万円です。



指標	指標の説明	比率（％） (H30決算)	全道 平均（％） (H29決算)	基準値（％）	
				早期健全 化基準	財政再生 基準
実質公債費比率	一般会計が負担する元利償還金などの標準財政規模に対する比率	10.6	7.3	25.0	35.0
将来負担比率	一般会計が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率	74.4	52.8	350.0	

※この指標のほかにも、「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「資本不足比率」の指標がありますが、全ての会計が黒字決算で比率が生じていないため省略しています。

「財政健全化法」とは、財政の健全性を示す左記の指標を導入し、再建の枠組みを定めた法律です。町では、計画的かつ健全な財政運営に努めていますが、実質公債費比率などの状況は依然として全道平均を上回っており、厳しい財政状況が続いています。

財政健全化法に基づく
健全化判断比率などの状況

閲覧用

平成30年度決算

グラフと写真でみる
まちの決算と
財政状況

北海道栗山町

◆役場新庁舎1階ロビー

◆カルチャープラザ「Eki」

◆総合福祉センター「しやるる」

◆農村環境改善センター

◆南部公民館

今月号に掲載しました平成30年度の決算概要のほか、栗山町第6次総合計画に基づき平成30年度に実施した主要施策の成果、まちの財政状況など、より具体的な決算内容をまとめた冊子「グラフと写真でみる、まちの決算と財政状況」を作成しました。

冊子は、左記の施設窓口に配置しているほか、町ホームページでも掲載していますので、ぜひご覧ください。

詳しい情報は別冊資料をご覧ください

注）標準財政規模とは、標準税収入額などに普通交付税を加算した額です。

平成30年度事業実施結果の一部を紹介 - 栗山町第6次総合計画の主要施策より -

計画事業
141

公営住宅の整備・改修を行います。



計画事業
152

新町地区の再開発整備要望に取り組みます。



計画事業
11

災害用物資の計画的な備蓄を進めるとともに、備品保管倉庫を整備します。



計画事業
20

消防団施設の更新など、充実・強化を図ります。



計画事業
192

くりやま若者シティプロモーション事業を推進します。



計画事業
66

教育効果向上のため、観察飼育舎とふれあいプラザの機能統合を図ります。



計画事業
108

障がい者の社会参画と自立支援に取り組む団体・事業者などを支援します。



計画事業
164

まちづくり協議会などの地域活動を支援します。



※栗山町第6次総合計画に掲載されている計画事業番号、事業名（略称）、決算額および計画事業に関連した写真を掲載しています。